

事業番号	15 05 02	事業改善シート（令和6年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検	
事業名	特別支援学校体制整備事業	部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課
		実施期間	S24 ~	E-mail	tokubetsu-shien @ pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

・県立特別支援学校は、施設・設備の老朽化や児童生徒数の増加に伴う狭隘化が進んでおり、計画的な環境整備が必要。
 ・児童生徒一人ひとりの生活上・学習上の困難を改善・克服する上で有効なICT活用に関する取組を推進してきたが、最適な支援ツールの効果的な活用に向けた体制整備と教員の支援力向上が必要。

2 事業目的

老朽化や狭隘化が進む特別支援学校について、長期的な視点に立った改築等を推進するとともに、施設・設備の計画的な修繕・改修、及び設備の充実等により、これからの学びに相応しい教育環境の整備を推進する。

3 事業目的を達成するための取組

- ①長野県特別支援学校整備基本方針等に基づく長期的な視点に立った改築等
 松本養護学校施設整備事業において、入札差金が生じたため、減額補正を行う。
 ※その他の事業は当初予算及び9月補正予算のとおり
- ②中長期修繕・改修計画等に基づく応急的な視点に立った修繕・改修と施設設備の整備
 特別支援学校施設計画整備事業において、入札差金が生じたため、減額補正を行う。
 ※その他の事業は当初予算及び1月補正のとおり
- ③ICT活用による支援充実に向けた環境整備
 当初予算のとおり

4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	指標なし	-	-	-	-	-	-	-	-		
②	計画に位置付けた修繕・改修の各年度における実施率	%	5.9	9.2	↗	17.2	↗	20			中長期修繕・改修計画において、令和3年度からの10か年で185箇所を整備することが長期目標であり、令和6年度は20%を目標とする。
③	個別の指導計画に個のニーズに応じたICT活用が位置づけられている児童生徒の割合	%	-	73	-	77	↗	85			第3次長野県特別支援教育推進計画でR9年度目標を100%と設定したため、2年度目であるR6年度は85%を目標とする。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (★印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標		
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値	
5-2①	一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境の創出											

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					合計 (予算現額)	うち一般財源	決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	うち今回補正額					
R6年度	890,979	2,069,429	372,954	△ 51,825		3,333,362	1,382,760		4.5
R5年度	548,332	2,358,423	277,671			3,184,426	1,574,151	2,078,850	4.5
R4年度	692,413	865,181	532,602			2,090,196	1,335,380	1,436,966	3.7

事業番号	15 05 02	細事業一覧（令和6年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検			
事業名	特別支援学校体制整備事業		部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課

細事業 No.	細事業名		R4年度 予算現額	R5年度 予算現額	R6年度 予算	
1	特別支援学校整備事業		688,630 千円	1,816,797 千円	予算現額 2,127,053 うち今回補正額 △ 26,611 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	松本・若槻養護学校施設整備事業	直接	松本養護学校・若槻養護学校の施設整備 令和5年度から実施している設計業務を踏まえ、工事等に着手 ※入札差金が生じたため、今回補正で減額を行う。 基本設計、実施設計、地盤調査、解体工事等の実施			
2	特別支援学校教室増設事業	直接	児童生徒数の増による校舎の狭隘化に対して教室等の増築工事を行う。 整備教室数 3校26教室			
3	寿台養護学校施設整備事業	直接	児童生徒数の増による校舎の狭隘化に対して既存校舎改修工事を行う。 既存校舎改修工事の実施			

細事業 No.	細事業名		R4年度 予算現額	R5年度 予算現額	R6年度 予算	
2	特別支援学校運営事業		708,065 千円	779,490 千円	予算現額 1,003,719 うち今回補正額 △ 25,214 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	特別支援学校施設計画整備事業	直接	中長期修繕・改修計画等に計画されている改修工事等について計画的に実施する。 今年度実施しているトイレ改修及びエレベーター改修の設計業務を踏まえ、工事に着手 ※入札差金が生じたため、今回補正で減額を行う。 整備箇所数 25箇所			
2	通学バス・公用車整備事業	直接	経年劣化したスクールバスの更新、児童生徒数の増加に伴う通学生の増加に対応するためのスクールバス増便・新規配置 スクールバス更新・増車等 13台			
3	特別支援学校の図書館機能の充実	直接	児童生徒数の社会性や学習意欲を育てる重要な場である図書館について、課題の多い現状を改修し機能の充実を図る。 特別支援学校18校に図書システムの導入			
4	県立学校給食費等負担軽減事業	直接	物価高騰に伴う学校給食等の値上げに対する保護者負担の軽減を図るため、食材費高騰分を支援 実施学校数 16校			

細事業 No.	細事業名		R4年度 予算現額	R5年度 予算現額	R6年度 予算	
3	特別支援教育推進指導事業		334,349 千円	215,076 千円	予算現額 202,590 うち今回補正額 0 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	学校管理運営事業費	直接	・タブレット端末等ICT活用教育の推進、環境整備、遠隔教育の推進 ・ICT機器の設定や操作研修等を実施するGIGAスクールサポーターを派遣 ・障がい特性に応じたICT機器・ATの活用を促進 ICT・ATリソースの活用支援拠点を利用する特別支援学校数 18校			